

福島南ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

国際ロータリー会長 BARRY RASSIN (バリー・ラシン)

国際ロータリー第2530地区ガバナー 平井 義郎

福島南ロータリークラブ 会長 吉田 和義 幹事 一條 浩孝
目標「例会を楽しもう」

会員/72名 出席/45名 出席率/62.5%

メークアップ/27名 修正/72名 修正後率/100%

会長挨拶 吉田 和義 会長



本日のお客様は福島成蹊高等学校より本田哲朗校長先生、3年生黒澤佳奈さん、2年生一條花乃さん、1年生金山歩夢君です。このあと奨学金の授与式が予定されておりますので宜しくお願いします。

2月は「平和と紛争予防/紛争解決」月間となっております。ロータリーの重点分野の一つでもある「平和と紛争予防/紛争解決」はグローバル補助金を申請して、持続可能かつ大規模な活動を実施することが出来ます。

ロータリー財団の年次報告書よりグローバル補助金の授与状況を閲覧可能ですが、「平和と紛争予防/紛争解決」はグローバル補助金の件数で6%、金額で4%程度しか授与されておりません。(82件・350万ドル)重点分野6項目の中でも一番少なく、難しい課題であると痛感しております。会員の皆様もマイロータリーを活用して理解を深めていきましょう。

国際ロータリーの収支報告やロータリー財団の収支報告については機会を見つけて例会で説明会を開きたいと考えております。

最後に1月23日に開催された第3回臨時理事会の審議結果をお知らせします。

丹治洋子会員の理事(副幹事)辞任届に伴い欠員理事(副幹事)の補填について審議、クラブ細則第3条第3節に基づき後任として菅野良二会員を推薦し、全会一致で承認されましたので報告いたします。菅野良二会員には本日開催の理事会より参加頂きます、5か月間の任期でございますが宜しくお願いいたします。

役員エレクト欠員補填報告

鈴木 光一 会長エレクト



欠員が出ましたので、福島南RC細則により、臨時理事会に於いて2019-20年度の幹事候補として菅野良二会員、それに伴い会員増強委員長として小坂一也会員が承認されました。

新理事・新役員エレクト挨拶

菅野 良二 副幹事・新役員エレクト



次年度幹事を仰せつかりました菅野良二でございます。急遽 次年度会長から話がありまして、どうか手伝って頂きたい旨話がありました。頼まれた以上は受けて、そして皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っております。

誕生祝 親睦活動委員会 伊藤 紘一 委員長

おめでとうございます!



- 1月3日 林 克重 会員
趣味:クラシックコンサート鑑賞
- 2月13日 齋藤 浩 会員
趣味:バラの栽培
- 2月11日 横山 りつ子 会員
趣味:手芸
- 2月18日 関口 富美男 会員
趣味:ゴルフ
- 2月5日 鈴木 光一 会員
趣味:溪流釣り
- 2月8日 菅野 孝之 会長
趣味:釣り、スノーモービル



福島成蹊高等学校 福島南RC奨学金及び奨学生認定書授与



本田哲朗校長先生挨拶

例会にお招き頂きまして、心から感謝申し上げたいと思います。本校の3名に多大なる奨学金をご寄贈いただきまして御礼申し上げます。この3名は各学年を代表する模範となる生活をしている生徒たちであり、皆様の御厚意に応えるべく将来は社会に出てこの地域に還元してくるものと信じております。

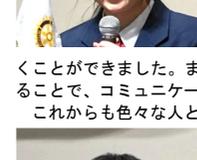


黒澤佳奈さん挨拶

私は今看護師になるために日々勉強に励んでいます。私は国公立大学を第一志望としており、センター試験を終えた今、今まで以上に力を入れて頑張っています。二次試験は私の苦手な科目である英語があるので、残り1か月過去問を解いて傾向をつかんでいきたいと思っています。



大学入学後は1年時から地域看護学習で実際に地域をめぐって人々とコミュニケーションを取る事が出来る場があります。その地域看護学習で今の福島現状を知り、これから私が行くべきことを見ていきたいです。私は患者とのコミュニケーションを大切にし、患者が少しでも安心してくれる環境を作り、患者に慕われる看護師になることが夢なので、付属病院での実習を生かして実際に働いている看護師を見て、技術を学んできたいと思っています。



一條花乃さん挨拶

私の夢はイベントプランナーになることです。イベントプランナーは自分のアイデアが形になって直接人々を喜ばせることが出来る仕事だと思います。また集団をまとめるリーダーシップや、新しいアイデアを常に考えていかなければならないという想像力が必要だとお聞きしました。

私の性格はとっても人見知りですが、早く克服したいなと思っていて、部活や自分で調べたプログラムなどを通して沢山学ぶことが出来ました。まず友達キャリアメンタリングプログラムに参加しました。そこではたくさんの同じ福島の高校2年生や留学生や社会人女性などと接してたくさんお話を聞くことができました。また部活では例会で貴重なお話を聞いたり、地域ボランティアに参加してたくさんの人と関わったりすることで、コミュニケーション能力やリーダーシップを身につけることができました。これからも色々な人と関わる機会があれば積極的に参加したいと思っています。



金山歩夢さん挨拶

私はIACの部員として、福島南ロータリークラブの皆様へ毎月の例会、8月の喜多方交流会、10月の猪苗代水草清掃活動でお世話になりました。

また12月は福島成蹊高校の代表として国際理解研修に参加してきました。国際理解研修会では5人の講師の先生方からお話をいただきました。第1講座は渡辺直子さんからコミュニケーションの取り方についてゲームをしながら教えて頂きました。第2講座では阿部真理子さんから難民の現状を第3講座では柴原智幸先生から英語のコミュニケーション、第4講座佐藤智子先生からフィリピンの現状第5講座は幕田純子さんから貧富の差について教えて頂きました。

全ての研修を通して今の日本はとても裕福な国だと思いました。世界には今を生きるために小さな子供たちが労働しなければいけない現状があり学校に行けず悲しんでいる子供が数多くいます。それを私たちが変えるべきだと思いました。今回の研修はこれからの世界の国との向き合い方について考えさせられるとても良い機会となりました。

これからもインターアクト部の活動にさらに積極的に取り組み、ロータリークラブの皆様のような社会貢献できる大人になれるよう努力していきたいと思っています。

IM準備状況報告 佐久間 功 実行委員長



IMは当クラブから36名の方が出席予定で、トータル139名で行うことになりました。

東京麹町ロータリークラブから久保田直前会長をお迎えして記念講演をお伺いする予定です。その後討議があって6時から懇親会ですが、久保田さんは盛岡で全国の歯科医師会連盟の会合があるので、公演が終わったらすぐ盛岡に向られます。久保田様は12時40~45分頃に会場に着かれると思いますので、その時に挨拶を頂ければと思います。その後、昼食と一緒に食べて2時からのIMの開始を待つという段取りになっております。宜しくお願い致します。

会員スピーチ 伊藤 弘子 会員



どんな話をしているのか迷いましたがでもロータリークラブに入会した当初の頃の話とかカメラメホームと私についてお話をしたいと思います。

入会したのは平成15年、一緒に会員になったのは今は亡きハッピーケアの福田淳一さんと二人でした。福田さんとは同期ということで、とても仲良くして頂きました。今でも12月の福田さんの命日には毎年ご自宅にお邪魔して仏壇に手を合わせてきています。

当時は沢山の会員の名前を覚えるのが大変でした。会員名簿を見て顔写真と名前を確認するので、何しろ会員名簿の写真と実物が違う人が沢山おり、なかなか覚えるのに苦労しました。

そんな中、私が入会して間もない頃、工場の窓に面格子を取り付けたと思うんだけどやってくれるのかい?と聞かれました。はい喜んでと答えると例会が終わった南町のファッション工房根元というところに来てちょうだい。と言われました。今は亡き根本郁夫さんです。例会終了後すぐに飛んで行き、採寸をして見積書を出し、すぐに仕事を頂戴いたしました。入会して会員が

ら頂く初めての仕事でした。とても嬉しかったのを今でも覚えています。その後もご縁を頂き工場の内装工事や娘さんの自宅の改修工事など、今でも繋がっております。今では多くの会員がカメカメホームのお客様になって頂いており、大変感謝しております。

続いてカメカメホームと私についてお話をさせていただきます。亀岡工務店は先代の社長が立ち上げました。最初は佐藤工業に勤めていたようですが、5人の子供を養っていく為に独立されたと聞いています。大学を出てゼネコンに入社した今の社長は、東京に住んでおりましたが、父危篤と騙されて福島に戻ったと言っていました。お父さんの頃は土木工事が主だったところに建築の今の社長が戻り、建築の仕事を多く受注するようになりました。企業の工場や一般の新築・改修工事を手掛けて来ましたが、営業が出来て無かったので、顧客管理、メンテナンスを充実させるため小さい工事からのカメカメホームを立ち上げることにしました。

お客様というのは営業担当に付きます。カメカメホームが良いのではなくて、営業担当が信頼を勝ち得ているのです。お客様とコミュニケーションが取れている担当ほど、仕事が沢山舞い込んできます。私はいつの時もお客様に寄り添い、頼りにされる関係でいることが大事と考えております。

会員スピーチ 渡邊 正義 会員



去年古希になりまして、そろそろ自分の過去を振り返る時期に来たのかなと思ひ、私の半生ということでお話させていただきます。

私は昭和23年1月1日清明町で生まれました。男4人の女3人で7人兄弟の末っ子として生まれました。当時は家族が11名居りました。祖母、もう一人は従兄弟です。従兄弟の父親がシベリアに抑留されまして、小学校位まで預かっていたと思います。

何しろ昔は貧乏を絵に書いたような生活でしたので、親父は多分かなり大変だったと思います。私が一歳半位で母親が癌で亡くなりましたが、その母親の母乳を飲んでいたので、かなり私自身も黄疸を発症したりして、この子は長くは持たないだろうと言われたらしいです。

男所帯だったので、養子にやった方が良くないかと話が続ったんですが、一番上の姉が高校に入学したばかりでしたが、学校を辞めるから養子に出さないでくれと言ってくれ、なんとか家族バラバラにならずに済んだということがあったので、今でも姉には感謝しております。その頃は、長男が小児麻痺になりまして、障害で耳が聞こえず話せないで、私も子供の頃、随分同級生にいじめられました。父親に「兄が居るからいじめられるんだ！」と言っておりました。今考えると、とんでもない事だったなと思います。

苦勞もしましたが、親父の苦勞を思えば些細な事と思っております。やはり家庭を持って子供を持って、そこで初めて親の苦勞が本当に分かりました。私は親の縁が少なかったので早く家庭を持ちたいと思ひ、32歳の2月21日に結婚しました。そして子供が出来まして、子供に対して一番申し訳ない事をしたと思つたのが、夫婦で喧嘩したのですが、子供が玄關まで追って来て、泣いて止められたんです。泣いて止められてはもう行けませんでした。それから子供は居ない所で静かに喧嘩をしようと思ひました。



— 理事会情報 — 第9回 H31年2月6日 13:40～ 於クラークアランテ

1 審議事項

(1) 創立48年記念夜間例会について⇒伊藤純一親睦活動委員会委員長より福島南RC創立48周年記念例会の一人当たりの会費、7,000円と発表されたが、今回は福島南RC独自での式典のため会費は一人6,000円とすることで承認された。

(2) その他

- ① 吉田和義会長より、丹治洋子副幹事から1月29日付で退会届が提出された旨報告があり、審議の結果、全会一致で受理が承認された。
- ② 吉田和義会長より、ポリオ基金寄付について目標50ドルに対し、当初予算30ドル送金済であるが、残り20ドルはクラブ予算から20ドルを拠出した旨報告があり、本決算の方で支障をきたさないか審査し問題がなければ審議化することで承認された。3月の理事会で内容を精査し、結果を報告することとした。

2 報告事項

(1) 各委員会報告 ※抜粋

- ・高橋勇雄 会場監督より 会員増強アンケートの提出がされていまして、提出のご協力をお願いします。
- ・松崎弘昭 R-リ-財団委員会より IMへ出席者に資料と共にクラークアランテを封筒に入れて渡します。
- ・海老根潤 青少年奉仕委員会より 2月14日 IACの桜の聖母 IAC合同例会があり、クラブより7名出席します。
- ・菅原節子 クラブ広報・雑誌委員会より 2月20日にR-リ-の友を渡しますので、幹事からお伝え下さい。

— 今後のプログラム —

- ・2月27日(水) 杉妻小学校読書感想文発表、会員スピーチ
- ・3月6日(水) クラブ協議会、次年度委員会組織発表
- ・3月13日(水) ガバナ補佐訪問

— 地区情報・第一分区分区・関連情報 —

- ・3月2日(土)～3日(日) RYLA 研修セミナー(ホテル華の湯)
- ・3月9日(土) 県北第一分区分区・第二分区分区新会員セミナー
- ・3月16日(土)～17日(日) 会長レイト研修セミナー

— 2月20日(水)の例会プログラム —

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング
3. 四つのテスト唱和
4. 来訪者紹介と会長挨拶
5. ロータリーの友読みどころ
6. 青少年奉仕委員会活動報告
7. スマイルングBOXの報告
8. ゲストスピーカー紹介
9. ゲストスピーチ
10. 謝礼の贈呈
11. 各委員会報告
12. 閉会点鐘